



基本的なデバイス管理

この章では、Cisco NX-OS デバイス上で、基本的な管理作業を実行する手順を説明します。
この章は、次の内容で構成されています。

- [基本的なデバイス管理の概要, 1 ページ](#)
- [基本的なデバイス管理のライセンス要件, 3 ページ](#)
- [デバイスのホスト名の変更, 3 ページ](#)
- [MOTD バナーの設定, 4 ページ](#)
- [タイムゾーンの設定, 5 ページ](#)
- [夏時間の設定, 6 ページ](#)
- [デバイス クロックの手動設定, 7 ページ](#)
- [クロック マネージャの設定, 8 ページ](#)
- [ユーザの管理, 9 ページ](#)
- [デバイス コンフィギュレーションの確認, 9 ページ](#)
- [基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定, 10 ページ](#)
- [基本的なデバイス管理に関する追加情報, 10 ページ](#)
- [基本的なデバイス管理機能の履歴, 11 ページ](#)

基本的なデバイス管理の概要

ここでは、基本的なデバイス管理の概要について説明します。

デバイスのホスト名

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト (switch) から別のストリングに変更できます。デバイスに固有のホスト名を付けると、コマンドラインインターフェイス (CLI) プロンプトからそのデバイスを容易に特定できます。

Message-of-the-Day バナー

Message-of-The-Day (MOTD) バナーは、デバイス上でユーザ ログインプロンプトの前に表示されます。このメッセージには、デバイスのユーザに対して表示する任意の情報を含めることができます。

デバイス クロック

デバイスをNTPクロックソースなどの有効な外部の時間調整機構と同期させない場合は、デバイスの起動時にクロックタイムを手動で設定できます。NTPの詳細については、を参照してください。

クロック マネージャ

Nexus 7000 シャーシには、同期化する必要のある異なるタイプのクロックを搭載することができます。これらのクロックは、さまざまなコンポーネント (スーパーバイザ、LCプロセッサ、またはラインカードなど) の一部で、それぞれ異なるプロトコルを使用している場合があります。

クロック マネージャには、これらの異なるクロックを同期する機能があります。

タイムゾーンと夏時間

デバイスのタイムゾーンと夏時間を設定できます。これらの値により、クロックの時刻が協定世界時 (UTC) からオフセットされます。UTCは、国際原子時 (TAI) をベースにしており、うるう秒を定期的に追加することで地球の自転の遅れを補償しています。UTCは、以前はグリニッジ標準時 (GMT) と呼ばれていました。

ユーザ セッション

デバイス上のアクティブなユーザセッションを表示できます。また、ユーザセッションにメッセージを送信することもできます。ユーザセッションとアカウントの管理の詳細については、[『Cisco MDS 9000 Family NX-OS Security Configuration Guide』](#)を参照してください。

基本的なデバイス管理に対する仮想化のサポート

基本的なデバイス管理は、仮想デバイス コンテキスト (VDC) に対してローカルです。VDC の詳細については、『Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Virtual Device Context Configuration Guide』を参照してください。

基本的なデバイス管理のライセンス要件

次の表に、この機能のライセンス要件を示します。

製品	ライセンス要件
Cisco NX-OS	基本的なデバイス管理にライセンスは必要ありません。ライセンス パッケージに含まれていない機能はすべて Cisco NX-OS システムイメージにバンドルされており、追加費用は一切発生しません。Cisco NX-OS のライセンス方式の詳細については、Cisco NX-OS ライセンス ガイドを参照してください。

デバイスのホスト名の変更

コマンドプロンプトに表示されるデバイスのホスト名を、デフォルト (switch) から別のストリングに変更できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	{ hostname switchname } <i>name</i> 例： hostname コマンドを使用する場合： switch(config)# hostname Engineering1 Engineering1(config)#	デバイスのホスト名を変更します。 <i>name</i> 引数は、32 文字以内の英数字で指定します。大文字と小文字が区別されます。デフォルトは switch です。 (注) switchname コマンドは、 hostname コマンドと同じ機能を実行します。

	コマンドまたはアクション	目的
	switchname コマンドを使用する場合 : Engineering1(config)# switchname Engineering2 Engineering2(config)#	
ステップ 3	exit 例 : Engineering2(config)# exit Engineering2#	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	copy running-config startup-config 例 : Engineering2# copy running-config startup-config	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

MOTD バナーの設定

ユーザがログインするときに端末でログインプロンプトの後にMOTDが表示されるよう設定できます。MOTD バナーには次の特徴があります。

- 1 行あたり最大 80 文字
- 最大 40 行

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	banner motd delimiting-character message delimiting-character 例 : switch(config)# banner motd #Welcome to the Switch# switch(config)#	MOTD バナーを設定します。 <i>message</i> テキストでは、 <i>delimiting-character</i> を使用しないでください。 (注) デリミタとして "および % は使用しないでください。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	exit 例： switch(config)# exit switch#	グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 4	show banner motd 例： switch# show banner motd	(任意) 設定された MOTD バナーを表示します。
ステップ 5	copy running-config startup-config 例： switch# copy running-config startup-config	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

タイムゾーンの設定

UTC からデバイスのクロック時刻をオフセットするためにタイムゾーンを設定できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	clock timezone zone-name offset-hours offset-minutes 例： switch(config)# clock timezone EST -5 0	タイムゾーンを設定します。 <i>zone-name</i> 引数は、タイムゾーンの略語 (PST や EST など) である 3 文字のストリングです。 <i>offset-hours</i> 引数は、UTC からのオフセット値であり、有効な範囲は -23 ~ 23 時間です。 <i>offset-minutes</i> 引数の範囲は、0 ~ 59 分です。
ステップ 3	exit 例： switch(config)# exit switch#	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	show clock 例： switch# show clock	(任意) 時間とタイムゾーンを表示します。
ステップ 5	copy running-config startup-config 例： switch# copy running-config startup-config	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

夏時間の設定

デバイスで夏時間を有効にする時期と、オフセット（分単位）を設定できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例： switch# configure terminal switch(config)#	グローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	clock summer-time zone-name start-week start-day start-month start-time end-week end-day end-month end-time offset-minutes 例： switch(config)# clock summer-time PDT 1 Sunday March 02:00 1 Sunday November 02:00 60	夏時間を設定します。 <i>zone-name</i> 引数は、タイムゾーンの略語（PST、EST など）である 3 文字のストリングです。 <i>start-day</i> および <i>end-day</i> 引数の値は、 Monday 、 Tuesday 、 Wednesday 、 Thursday 、 Friday 、 Saturday 、および Sunday です。 <i>start-month</i> および <i>end-month</i> 引数の値は、 January 、 February 、 March 、 April 、 May 、 June 、 July 、 August 、 September 、 October 、 November 、および December です。 <i>start-time</i> および <i>end-time</i> 引数の値は、 <i>hh:mm</i> フォーマットです。 <i>offset-minutes</i> 引数の範囲は、0 ～ 1440 分です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	exit 例： switch(config)# exit switch#	グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 4	show clock detail 例： switch(config)# show clock detail	(任意) 設定された MOTD バナーを表示します。
ステップ 5	copy running-config startup-config 例： switch# copy running-config startup-config	(任意) 実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。

デバイス クロックの手動設定

デバイスがリモートの時刻源にアクセスできない場合、クロックを手動で設定できます。

はじめる前に

タイムゾーンを設定します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	clock set <i>time day month year</i> 例： switch# clock set 15:00:00 30 May 2008 Fri May 30 15:14:00 PDT 2008	デバイス クロックを設定します。 <i>time</i> 引数のフォーマットは <i>hh:mm:ss</i> です。 <i>day</i> 引数の範囲は 1 ~ 31 です。 <i>month</i> 引数の値は、 January 、 February 、 March 、 April 、 May 、 June 、 July 、 August 、 September 、 October 、 November および December です。 <i>year</i> 引数の範囲は 2000 ~ 2030 です。
ステップ 2	show clock 例： switch(config)# show clock	(任意) 現在のクロック値を表示します。

関連トピック

[タイムゾーンの設定, \(5 ページ\)](#)

クロックマネージャの設定

Nexus 7000 シャーシに含まれるコンポーネントのクロックをすべて同期するように、クロックマネージャを設定できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<p>clock protocol protocol vdc vdc-num</p> <p>例 :</p> <pre>#clock protocol ptp vdc 2</pre>	<p>クロックマネージャを設定します。</p> <p><i>protocol</i> 引数の値は ptp、ntp、および none です。</p> <p>次に、値について説明します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ptp : IEEE 1588 で記述されているとおりに、クロックを高精度時間プロトコル (PTP) と同期します。 • ntp : クロックとネットワークタイムプロトコル (NTP) を同期します。 • none : 「clock set <HH:MM:SS>」を使用して SUP クロックを設定します。 <p>(注) none が使用されている場合、指定の VDC のクロックが設定されている必要があります。</p> <p>(注) プロトコルが設定されたら、指定の VDC のクロックはそのプロトコルを使用する必要があります。</p> <p>たとえば、コマンド「clock protocol ptp vdc 2」を入力すると、VDC 2 に PTP が設定されます。</p> <p><i>vdc</i> 引数の範囲は、1 ~ 8 です。</p>
ステップ 2	<p>show run clock_manager</p> <p>例 :</p> <pre>#show run clock_manager</pre>	<p>(任意)</p> <p>クロックマネージャの設定を表示します。</p>

ユーザの管理

デバイスにログインしたユーザの情報を表示したり、それらのユーザにメッセージを送信したりできます。

ユーザセッションに関する情報の表示

デバイス上のユーザセッションに関する情報を表示できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	show users 例 : switch# show users	ユーザセッションを表示します。

ユーザへのメッセージ送信

デバイス CLI を使用して、現在アクティブなユーザにメッセージを送信できます。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	show users 例 : switch# show users	(任意) アクティブなユーザセッションを表示します。
ステップ 2	send [session line] message-text 例 : switch# send Reloading the device is 10 minutes!	すべてのアクティブなユーザまたは特定のユーザにメッセージを送信します。このメッセージは最大 80 文字の英数字で、大文字と小文字が区別されます。

デバイス コンフィギュレーションの確認

次のコマンドの1つを使用して、POAPによるデバイスのブートストラップ後のコンフィギュレーションを確認します。

コマンド	目的
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。
show startup-config	スタートアップコンフィギュレーションを表示します。

各コマンド出力のフィールドの詳細については、『*Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Command Reference*』 *Cisco MDS 9000 Family Command Reference, Release 4.2(x)*を参照してください。

基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定

次の表に、基本的なデバイス パラメータのデフォルト設定を示します。

表 1: デフォルトの基本的なデバイス パラメータ

パラメータ	デフォルト
MOTD バナー テキスト	User Access Verification
クロック タイム ゾーン	UTC
Telnet サーバ	ディセーブル

基本的なデバイス管理に関する追加情報

基本的なデバイス管理に関する追加情報を示します。

基本的なデバイス管理の関連資料

関連項目	参照先
ライセンス	『 <i>Cisco NX-OS Licensing Guide</i> 』
コマンドリファレンス	『 <i>Cisco Nexus 7000 Series NX-OS Fundamentals Command Reference</i> 』

基本的なデバイス管理機能の履歴

次の表に、この機能のリリースの履歴を示します。

表 2: ファイルシステム、ディレクトリ、およびファイルの機能の履歴

機能名	リリース	機能情報	
デバイス管理	4.0(1)	この機能が導入されました。	

